

土砂災害発生時の関係機関との連携を確認！

～同時多発的土砂災害を想定した県・4市との合同演習～

～六甲砂防事務所～

同時多発的に発生する大規模な土砂災害を想定し、国・県・4市等が連携した応急対策や、再度災害に備えた対応等の協議・役割分担等を模擬的に体験することにより、演習参加機関の危機管理能力の向上を図ることを目的として「同時多発的土砂災害を想定した合同演習」を開催しました。

土砂災害は、4市で同時に発生することを想定し、災害が発生する各市に県や国が加わる4班体制に分かれ演習を行いました。

概要

日時：令和6年9月3日（火）13:00～16:30
 場所：芦屋市保険福祉センター 多目的ホール
 参加機関：近畿地方整備局／国土技術政策総合研究所／六甲砂防事務所／神戸地方気象台
 兵庫県／4市（神戸市／西宮市／芦屋市／宝塚市）
 参加人数：約50名

【ステージ1】

発災後1週間程度の対応検討（警戒避難や応急対策にかかる情報共有、役割分担の協議対応）

⇒降雨後の避難対応等完了後に、国・県・4市の関係機関の応急対応にかかる情報共有、役割分担の協議
 ⇒二次災害防止を目的とし、次の予測される降雨までの時間の中で各機関が優先して行うべき対応検討や調整協議
 ⇒気象台による気象に関する技術支援（対象地域の詳細な気象解説。早期注意情報の見方など）

【ステージ2】

発災後1年程度を対象とした二次災害防止・応急復旧検討（市や県から国への支援要請等）

⇒TEC-FORCE高度技術指導班（土砂災害専門家）による現地調査結果を踏まえた二次災害の防止及び避難解除に関する助言対応について
 ⇒応急復旧に向けた災害関連緊急砂防事業等の申請を想定した対策計画の立案



事務所長
挨拶

国総研主任研究官
コメント

河川保全管理官
講評



気象台による気象条件説明



演習風景



各班の資料作成



各班による報告

～参加機関の感想～

- ・事前説明や現地確認があったことで、明確に課題の洗い出しが出来た。
- ・災害発生時、どのタイミングで、どの場所で協議するのかを想定しておいた方が良かった。
- ・実際の災害時に対応する関係機関と、顔を合わせることは有意義であった。
- ・関係機関の細かい対応、考えを確認することができたことが良かった。
- ・廃棄物処理（廃棄物の仮置場）の対応が、大きな課題であると感じた。
- ・課題の抽出で終わらず、事後検討をしっかりと実施したい。
- ・想定した災害でも必要な作業が多く感じた。実際の災害でも慌てないように準備しておきたい。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052

神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

